



さ さ き じ ゆ ん じ
佐々木 淳二

品質保証部 配管材品質保証課 主任

013年に株式会社中央物産へ入社した佐々木淳二。2018年から品質保証部の配管材品質保証課で主任となり、お客様窓口での対応を担っている。佐々木に、前職でのエピソードや現在の仕事への取り組み方について聞いた。

腑に落ちないどん底の経験

高校卒業後、プリント基板を作る会社に勤めていた佐々木。CAM編集にてパチンコの基板を作っていたが、あるときトラブルが起きた。パチンコの基板は1つでも文字を間違えると不良品となる。その間違いが起きてしまい、全ての基板が使えない物となってしまった。損失の額は合計で4000万円。取り返しのつかない大きなミスだった。

高卒で入社2年目だったが、上司の退職により、20歳前後で上の立場に就くことになった佐々木は必死で勉強していた。その矢先に起きたトラブルであった。元々、お客様からの指示が、営業を通る段階で間違っていたことが背景にあったのだが「次は気をつけてね」という一言を受け、腑に落ちないと感じた。

「お前が全て悪い」と言われているような気持ちになった。

この一件により退職を決意することになるのだが、今振り返ると様々なことを経験させてもらい、学ばせてもらったと思っっている。

今でこそ実感する 前職のありがたみ

前職の研修で、外部の講師から言われたことをふと思い返すことがある。

「どんな人にも時間は24時間平等にあります。その中で自分の大切な時間を作るにはどうしたら良いでしょうか。」

当時は「そんなの、どうにもできない」と思っていたが、今ならば分かる。例えば、「他の人に仕事を任せていくことの必要性」だ。

佐々木は品質保証を担当しているが、不良が出た場合は「自分だけで何とか解決しよう」と思わずに班長などに協力を求め、自らはフォローする形を取るよう心掛けているという。そうすれば、連携も取れてスムーズに仕事が進むと実感している。

今このような考え方ができるのも、前職で得た学びが生かされているからだ

と感じている。

辛いときこそ楽しくしていきたい

品質保証という仕事柄、不良が発生した際には叱責される場面もある。

「その都度、不良の原因と対策を報告しなければならぬのですが、失敗やトラブルがあっても、クヨクヨせずに原因や対策を考えるほうがシフトします。次にどうしたら良いかを考えることが好きなのです。」

仕事以外でもこんなエピソードがある。

バイクが好きな佐々木。よく壊れるがお気に入りの古いバイクに乗っていたときのことだ。季節は真冬の夜中。横浜でのイベントにバイクで行った帰りにまた壊れてしまった。普通はその状況ならぼろろたえるだろうが、その状況を乗りこえ、のんびりバイクを修理して帰ってきたことを「笑い話にしたという。」

「トラブルが起きたら、どのみち解決しないといけません。それは自分の力にもなるし、成長になると思うのです。」

苦労や辛さはマイナスばかりではない。「乗り越えたら良いことがある

る」と前向きに捉えられるのは、自身の強みだと思っっているという。



みんなで協力することが お客様の満足度向上に

不良が出た場合、現場と検品作業を一緒にすることになる。不良が出ることは好ましくないが、共に検品作業を行う中で「繋がりができる」プラス面もあると考えている。

そして、次は不良を出さないように注意を共有し、各現場の班長とのコミュニケーションも大切にしている。

「自分一人ではなく、みんなで協力して一緒にやるというところに重きを置いていきますね。」

現場との協力体制を強化することは、



お客様へ良い品質の物を届けることにも繋がっていくと考えている。これからも佐々木はその前向きな姿勢で、中央物産にとって必要不可欠な存在としてその成長を支えていくことだろう。

企業情報

◆設立年：1954年6月
◆年商：225億円

※2019年3月時点

佐々木淳二さんへの メッセージ

品質保証部で共に働く小南さんと、意外な繋がりのある曾我さんから佐々木さんへのメッセージをいただきました！

■第一印象

初めて会ったのは、佐々木さんが品質保証部に配属されたときです。最初は無口でクールな印象でした。現在もクールな印象こそ変わりませんが、話しやすい方だと感じています。

■忘れられない思い出

独身だった当時、「今年中に彼女を作って結婚する」と言っていました。その後、何の報告もなかったのが、ある日突然結婚の報告を受け、とても驚いたことは今でも忘れられません。結婚式で奥さんとの写真を見て、ちゃんと彼女を作っていたのだなぁとしみじみ感じました(笑) 佐々木さんの趣味であるバイクつながりの仲間たちも来ており、フレンドリーで素敵な結婚式でした。

■佐々木さんはどんな存在？

上司と部下という立場ではありますが、助けてもらうことも多く、決して欠かせない存在です。今後も期待しています。

■尊敬しているところ

この部署は、各現場の班長たちとの連携が大事ですが、佐々木さんはそういった品質保証部としての必要なスキルが備わっていると感じています。私は抱え込んでしまうタイプなので、役割分担やフォローなどの現場を上手く回せるマネージメント力を尊敬しています。

■佐々木さんへのメッセージ

これからの中央物産を背負っていく方なので、そのままの佐々木さんらしく、精進して欲しいと思います。

■第一印象

実は高校の同級生です。同じ野球部に所属していましたが、良い意味での孤高の人で、陰での練習も欠かさない志の高い人でした。現在もその印象はありますが、仕事で人と関わることも多く、3年間レクリエーション委員長を務めているせいか、輪の中心にいる姿をよく見かけます。

■忘れられない思い出

2018年度から、一緒に班の改善活動を進めています。製品ができてしまえば細かいことは気にしない風潮がある製造部のために、条件設定を改善する手法を考えてくれて、おかげさまで目覚ましい改善ができました。

■佐々木さんはどんな存在？

頼れる存在です。僕は高校を卒業してすぐ入社しましたが、佐々木くんは途中で入社しています。自社の経験しかない僕と比べて知識や経験も豊富で、品質保証部ならではのアドバイスも多く、感謝しています。

■佐々木さんへのメッセージ

一部のあいだでは、班長や主任を務める僕らが次世代だと言われているそうです。その期待に応えられるよう、今後も頑張っていきたいと思います！



配管材事業部 製造2課 課長代理 兼
チューピング班 班長
そが たつや
曾我 達也さん

品質保証部 次長 兼
配管材品質保証課 課長
こみなみ たかゆき
小南 孝之さん

私の愛読書

今回は4名の方に愛読書を紹介していただきました！是非手にとって、日々の読書にひと味違う本を加えてみてはいかがでしょうか。

ぶらり 西安探訪

総務部 顧問 みお わきこ
三尾 湧子さん

選出理由

坂本在住の元高校教師である吉川さんが中国の西安に8年留学された経験をもとに、西安や中国の歴史についておもしろく書かれています。同じ留学生として、幕府の命令により西洋の砲術技術を学びにオランダに渡った田口俊平のことが詳しく書かれていますが、彼は付知の人で、私の実家のはるか昔の先祖の1人です。大変興味深く読み、著者の吉川さんにもお会いしていろいろな話をさせていただきました。この本を東京にいる2人の弟に送ったところ、大変喜んでくれました。

皆さんへ一言

興味がある方は、是非ご連絡ください。

アルゲリッチと ポリーニ

取締役 さくらい ひろし
櫻井 寛さん

選出理由

今年は5年に1度のショパンコンクールの年ですが、残念ながらコロナのため来年に延期となりました。この本は、1960年の優勝者であるポリーニと1965年の優勝者であるアルゲリッチという「ピアノ界の怪物」と言われた2人に纏わるエピソードをまとめたものです。ピアノ界の裏話、アルゲリッチの奔放な私生活も描写されており、とても興味深い作品となっています。

皆さんへ一言

ショパンコンクールは未だ日本人の優勝者が出ていないピアノコンクールの最高峰です。クラシック音楽に馴染みの薄い方でも、人間味溢れる2人を中心にピアノ界の事情が書かれているので、理解が深まると思います。ちなみに、アルゲリッチと最後のパートナーとの間に生まれた娘のステファニーが、アルゲリッチについてルポタージュにまとめたものがブルーレイで発売されています。

わたしの ベトナム料理

化成品 2班 レ ティ アン トゥエット
LE THI ANH TUYETさん

選出理由

偶然、中津川図書館でこの本を見つけました。懐かしさを感じ、手に取りました。

皆さんへ一言

この本はベトナムの美味しい料理を紹介しています。また、巻末にはベトナムの国土案内もあり、楽しめると思います。

珈琲店タレーランの 事件簿

チューピング班 班長 そが たつや
曾我 達也さん

選出理由

平和な世界観に和みます。京都へ行きたくありませんが、それはコロナが収まってからにしましょう(笑)

皆さんへ一言

京都に店を構える珈琲店タレーラン。そのパリスターである切間美星が日常的なミステリーに挑みます。恋愛作品が好きな方も是非読んでみてください。「その謎、大変良く挽けました」。

選出理由

ペットの在り方について、今一度考える機会になればと思います。

皆さんへ一言

その「かわいい!」の裏には地獄がある、という帯通りの作品です。すでに日常と化したペットのいる風景ですが、その裏側にある現実とは……。この作品はタレント業、女優業、そして動物愛護団体Evaの代表理事も務める杉本彩さんが監修しています。

しっぽの声